

令和6年

療育相談員だより

6月



〒863-0043

天草市亀場町亀川1886番地2

天草圏域児童発達支援センター

電話：23-7049 FAX：22-4985

メール：hondo@amasha.jp

梅雨の便りが来る季節となりました。暑かったり寒かったりと気温の変化が激しく、皆さまにおかれましては、服装や体調管理に気を配っておられることかとお察しいたします。

今月は「親の集い」「気になる行動として表れる子どものサイン」などについて情報をお届けします。

○親の集い

子育ての悩み、試してみて良かったことやお子さんの近況など情報交換の場です。相談には、ペアレント・メンターさんや療育相談員が個別の対応も行っていきます。

毎月第3木曜日開催（奇数月 10：00～11：30・偶数月 13：00～14：30）

今月の『親の集い』は・・・

○日 時：令和6年6月20日（木）13：00～14：30

○場 所：天草圏域児童発達支援センターすくすく園 会議室

（天草市社会福祉協議会本渡支所内）



☆5月の親の集いには、保護者様1名とペアレント・メンターさん3名が参加くださいました。テーマの『サポート・ブック』について、実際作成し活用されたメンターさんから、「本当はいっぱい書きたいことはあるけど、相手が見やすく受け入れやすいものが良い」「渡す相手の方との関係作りが大切」など情報提供頂きました。

☆「サポート・ブックってどんなもの?」「作ってみたいけどできるかな?」など関心がある方は、見本もありますので、いつでもお声かけください。



『気になる行動』として表れる『子どものサイン』

気になる行動
=目に見える部分

子どもが困っていること=見えない部分

- 苦手なこと
- ・聴覚情報の理解
- ・全体の意味把握
- ・抽象的な内容の理解
- ・未経験のことの想像
- ・曖昧な概念把握
- ・学習の応用、般化など

どうしたら良いのかわからない!

それって
どういう意味?

きちんと!って
どうするの?

ねえねえ!
どうして怒ってるの?

気になる行動を見る視点を変わると、子どもの困った!というサインに気づけるかもしれません。





無意識に使っているあいまいな言葉！
ちょっと 待ってて！



「ちょっと待ってて」に含まれる2つの苦手な言葉！
①「ちょっと」という表現 ②「待ってて」というコマンド（要求）

①「**ちょっと**」は、どれくらいの時間なのか見当もつかないし、全然「ちょっと」じゃないこともあるのでとても困る。どれくらいかわからない！というのは、見通しが見つからない不安につながる。でも、『なにがどう』『どれくらい不安なのか』説明するのはとても難しい。例えて言うなら、台風や嵐の中にずっと身をおかれる感じ。私にとっては、日常生活でも同じ。今日、『何があるのか』『何をするのか』見通しが立たないというのは、何の情報も得られないまま台風の中に身をおいている・・・そんな感じ。

②「**待つ**」ことの困難な理由は、何をしなければいいのかわからないこと。私はポーッとすることが殆どできない。私がイメージする「待つ」は、円錐の中にとどまる感じ。「待つこと」を、他のことをして過ごす時間にすり替えるのが難しい。他のことをしているうちに、何をしていたのかわからなくなる。



参考書籍：小道モコ著
あだし研究
自閉症スペクトラム
～小道モコの場合



「**ちょっと**」を明確にして、「**待つ**」を明確にできたら、だいぶ楽に「ちょっと待っている」ことができる！



ASD 小道モコさんの場合

○抽象的な言葉を 具体的な言葉で！

「何を求められているのか」「どうしたらいいのか」などが伝わりやすくなります。



そんなところに置いたらダメ

コップは、テーブルの上に置いてね



ちゃんと体を拭きなさい

しずくがなくなるまで拭いてね

